

第71回国際協同組合デー

1993年7月3日

—国際協同組合同盟からのメッセージ—

国連国際協同組合デーを通じて協同組合のメッセージをいっそう広げよう

政治的・経済的・社会的な変化が、きわめて広範な影響を及ぼしながら、世界を揺り動かしています。その影響は、経済的・政治的自由主義化の新たな展開の中で、ますます劇的なものになりつつあります。

これらの変化は、協同組合運動にも影響を及ぼしました。そして、会員組織としての国際協同組合同盟は、世界中の様々な会員の中での発展の影響を不可避的に受けています。

I C A は、新しい構造を採用し、自らの価値体系を分析し、再確立することによって、これらの世界的な変化が突きつけている挑戦に応えました。I C A は、今やその2世紀目の歩みに入る態勢を整えたとともに、われわれの惑星を脅かしている現在の危機の解決に、協同組合が役立ち得る、という希望のメッセージを伝えています。

国連ガリ事務総長は、国連総会に対する1992年報告の中で、新たな経済的・社会的趨勢の中での協同組合の役割に関して触れ、経済の再構築と社会進歩に貢献する手段として、協同組合に対してより大きな役割を与えることに賛成する発言を力強く行ないました。

この報告の結果として、国連総会は、国際協同組合運動の計画と目的に対する援助を維持し強化する決議を可決しました。そして、1995年のI C A 協同組合百周年および協同組合運動自身の国際協同組合デーに合わせて、この日を国連国際協同組合デーとすることを宣言しました。

I C A は、自らのエネルギーの大部分を、会員へのサービスの提供という、その第1優先課題に向けるものです。けれども、運動全体が、様々の努力と結びつけて、協同組合のメッセージを一般公衆によりよく知らせることが求められています。

国際協同組合同盟は、1995年に国連国際協同組合デーを祝うという国連決議が、拡張され、I C A 国際協同組合デーに合わせて国連国際協同組合デーが毎年持たれるようになるならば、協同組合があらゆる社会の人々の生活の質を向上させる方法であるということについての、一般公衆の自覚を高めるものと確信します。

それゆえにI C A は、世界中の200以上の会員組織と7億を超える協同組合人に呼びかけます。国連国際協同組合デーを恒常的な記念日として、協同組合のメッセージを誇り高く普及するために、自国の政府に働きかけ、キャンペーンを行なおう。コミュニティ全体の利益に奉仕する協同組合事業の全体像を、一般公衆により明瞭に理解してもらうために、協同組合の原則と価値を説明しよう。